

## 目標達成計画

作成日：平成 25 年 3 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	本人がこれまで大切にしてきた馴染の人や場所へ出向いての支援が少ない。	ドライブ、受診等の外出の機会を利用し、元住んでいた家や思い出の場所に出かけ、これまで大切にしてきたものとの関係が途切れないようにする。そうして自分は大切にされているという思いを持って頂き、信頼関係を深める。	月に1回の受診がある人はその帰りにホームの車で元の住まいの近くをドライブする。1か月に一人の順番で外出の機会を作り、馴染の場所を訪問する。	12ヶ月
2	14	管理者や職員が同業者と交流する場が限られており、ネットワーク作りや相互訪問等の機会が少ない。	他のグループホームとの交流を積極的に図る事によって、地域の垣根を越えた社交の場を持てるようになる。職員も入居者も刺激を受け、楽しみを増やし、可能性を広げる。	市のグループホーム連絡会に参加しているグループホームの一つと連絡を取り、職員と入居者様の訪問を受ける。ステラからは皆で歌のお返しをする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。